

会 議 記 録

会議名称	第10回杉並区社会教育委員の会議
日 時	令和7年3月25日（火）午後2時59分～午後5時08分
場 所	中棟4階 第2委員会室
出席者	委員 諸橋、宮内、檜枝、南、青木、天野、荻上、笹井 区側 生涯学習担当部長、生涯学習推進課長、中央図書館長、 学校支援課長、社会教育センター所長、管理係長、 社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 社会教育センター社会教育推進担当係長（社会教育主事）、 新しい学校づくり担当係長、社会教育センター社会教育主事
配付資料	<配布資料> - 第9回社会教育委員の会議記録 - 第10回すぎなみサイエンスフェスタについて - 第18期まとめ（案） <参考資料> - 社会教育センター「アート×環境科学展 光の竜宮城からのメッセージ」チラシ - 郷土博物館企画展「サイタ サイタ サクラ ガ サイタ」チラシ - 郷土博物館分館企画展「郷土博物館収蔵資料展 打つ」チラシ - 炉辺閑話No.72 - とうきょうの地域教育～豊かな出会いと学びを～No.154 - 大人と子ども、地域と学校をつなげる、地域発＜教育情報誌＞なみすく 2025年春号 - 一般社団法人全国社会教育委員連合『社教情報No.96』案内
会議次第	I 報告事項 - 社会教育士の育成について - 第10回すぎなみサイエンスフェスタについて II 協議事項 - 今期の検討課題「社会教育活動への支援のあり方について」について - 次回の日程について III その他
（意見要旨）	
○議長 部長からご挨拶よろしくお願いします。 ○生涯学習担当部長 この間、皆様から大変貴重な意見、ご提案をいただい	

いりました。今期のまとめが今後の区が進める社会教育の基軸となります。社会教育活動が広がり、様々な方々に地域づくりに参画いただければと思っています。本日もご議論をよろしくお願いいたします。

○議長 それでは報告事項で、社会教育士の育成についてお願いします。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） 「社会教育士の育成」事業として職員に受講を促し社会教育士の称号を得る取組を行っています。今年度は合計3名が修了しました。

○議長 次に第10回サイエンスフェスタについて説明をお願いします。

○社会教育センター社会教育推進担当係長（社会教育主事） 3月1日、2日にサイエンスフェスタ実行委員会と共催で開催し、1,307名の方が参加されました。出展団体は29、出展ブース数は32でして、この中には会場となる杉並サイエンスラボ IMAGINUS（イマジナス）の初出展も含まれています。

○議長 協議事項に移ります。まとめの素案について、説明をお願いします。

○社会教育推進担当係長（社会教育主事） まとめ（素案）について概要説明

○議長 第1章と第2章が意義付けと現状認識で、3番目以降がこれからどう進めていくかというところになってきます。まず認識を共有することが大事だと思いますので、質問や意見をお願いします。

○委員 職員が資格を取るのはいいいのですが、区民も社会教育士的な観点を持つようになっていかないと、地域に浸潤していかないと思います。関心がある地域の方が資格を取れる仕組みをつくる、その人と行政が一緒になって横のつながりが広がっていく具体的な対策を考えないといけないと思いました。

○生涯学習推進課長 「学び合いのワークショップ」や「スキルアップ講座」は、地域で資格のない人たちも含めて、横のつながりをつくっていくためにやっています。拠点となる社会教育センターの職員が資格を取得しても、いきなり事業展開は難しいわけで、職員自らもスキルアップして、最終的に地域で活動している方たちを支援する力を身につけていくことも考え、大人塾でやっている学習支援者と社会教育士の関係性も成熟させていくのが課題と認識しています。

○委員 社会教育は大切です。それが社会に共有されていない状況があるので、社会教育士は必須だと思います。社会教育は住民自治を築く基盤だということを区役所の中にももうちょっと浸透させないと…。

○委員 第一フェーズは行政内で社会教育士の取得者を広げることで、地域の社会教育士をどう広げるかは第二フェーズになると思います。取得者をどう増やしていくかということがあるべきではないでしょうか。

○委員 社会教育士がどのような課題を持っているのか、難しいとか悩んでいるといった実感めいたものが分からないので、どうしていったらいいのか寄り添えないというか…。ただ増やすとか、どこかにいてくれればいいというのも何か違うような気がします。

○議長 前回までの議論で、学校という場にいろいろな人が入ってきて、それをコーディネートすることが必要だという話がありました。そのプロセスの中で社会教育士が活躍できる場面があるのではないかという話もありました。社会教育士への期待は、一つには地域学校協働活動の場面をイメージすると見えてくると思います。

○委員 職員の皆さんの称号取得はこのまま進めていただければと思うのですが、区民側からすれば、相談できる対象として社会教育士がいることをもっと積極的に発信してほしいと思います。素案からはそれがあまり見えてこない感

じがしました。また、社会教育士が各学校に配置され、空き教室を使って地域の方と話をするうちに、困り事が解決に向かうきっかけになるような発信の仕方ができたらいいいのではないのでしょうか。

- 生涯学習推進課長 「学びのプラットフォーム」という考え方のもと、学校施設の活用を進めるのはこれからです。社会教育士が活躍する一つの場として可能性があると思います。

区は社会教育士の取組をこの間手探りでフロントランナー的に行ってきました。緩やかなネットワークは、徐々にではありますが、できてきているのではないかと思います。次のまた一步を進めなければならないと思っています。

- 議長 地方自治法上、学校施設は公共施設なので、教育委員会直轄の権限で貸せる仕組みにしてもらえたらと思います。
- 委員 学校に学びの拠点をつくっていくのが理想です。学校教育を学校の中だけで行う時代から、地域で活躍されている方たちが学校に入っていく時代です。子どもたちが社会から学べる環境をつくってほしいです。社会教育士が学校に入って、社会教育活動している方と子どもたちを上手くつないでいけるような仕組みをつくっていただけるといいと思いました。
- 新しい学校づくり担当係長 学校施設を活用した「学びのプラットフォーム」について説明
- 学校支援課長 区全体で約250人の学校地域コーディネーターが活躍しています。いまの学習指導要領は、学校の中だけで子どもたちの教育を完結させるのではなく、社会とのつながりの中で学校教育が成り立つという観点です。学校支援本部という仕組み、あるいはコーディネーターという役割と社会教育士というこの動きを、どこかでつなげていく必要があると感じています。
- 委員 何かやろうとしたときに、どうやればスムーズにいくのか行政が事前に分かるようにしてもらえると、一步を踏み出しやすくなると思います。また、学びの場として学校施設以外のスペースや場所も大切だと思いました。
- 委員 杉並区の現状の部分が事業報告のように読めてしまいます。地域の社会教育士について入れられないのでしょうか。
- 議長 行政機関における社会教育士に何を期待するか、民間活動としての社会教育士に何を期待するか両方必要だと思います。直接その効果を及ぼせる政策ができるから行政が中心になっていますが、社会教育士が民の世界でどんどん増えてくるというのが望ましいわけです。
- 委員 今後の社会教育並びに社会教育士の活用にとって、行政でないところの社会教育士の活躍は必須ですし、まとめにも必要だと思います。
- 委員 タウンミーティングのようなものを開いて、行政、区民、大学生、興味がある人、地域のNPOが入って、社会教育士をどう取り回していくか、課題がどこにあるか、どういうやり方があるかなど、大枠を話しながら進めていくやり方もあると思います。
- 委員 「学び合いのワークショップ」の価値は確実にあると思います。そこに参加している人は、自分の活動をやりたくてやっている人と、資格的なものを持って支援したい人の2タイプの人がいると思いました。皆さんがどういうモチベーションでいるのかを正確に認識した上で次の活動につなげていくのがいいと思いました。また、区が具体的に社会教育士や社会教育活動を増やしていきたい、「こういうことをやってみる人いませんか？」というように話していくべきだと思います。
- 委員 社会教育士という国が定めている資格ではなく、いろいろな活動に参加

した方は、例えば「すぎなみ社会教育推進員」という名称で肩書きのようなものを区が出すというのはどうでしょうか。定義された資格は要件を満たさなければならないということもあって、行政としては難しいのも仕方がないかと思いますが、何か呼び名がつくとさらに頑張りたいと思う方は多いと思いますし、いずれ社会教育士の講習を受けて資格を取る道に進んでもいいと思います。

また、学校支援本部がありますが、大人も子どもも学校教育も社会教育も関係なく、一人一人が学びの担い手であり支え手であるとして、学び支援本部という概念で捉え直してもいいと思います。学校にあるときは学校支援本部、地域にあるときは別の言い方をして、地域全体で学びを支える。杉並区らしいチャレンジがあったらいいと思います。

○議長 群馬県は群馬大学に委託して多文化共生推進士という資格をつくっています。いわば社会教育士の多文化推進バージョンですが、外国籍住民の職場や地域でのトラブルの削減や解決を目的にした独自の制度で、上手く回っていると思います。

それでは本日の会議はこの辺で終わりにしたいと思います。次回5月に、修正版を議論いただいて確定させたいと思います。ありがとうございました。